

# 熊原投手に「郷土の誉」 角田市初のプロ野球選手

角田市は28日、プロ野球DeNAに入団した仙台大4年の熊原健人投手(22)に対し、顕著な功績を挙げた市出身者を表彰する「郷土の誉(ほまれ)」を贈呈した。

市役所で贈呈式が行われ、職員約70人が出迎えた。大友喜助市長は「角田市初のプロ野球選手の誕生に市民一同で喜んでい。素晴らしい投球をして角田のPRに貢献してほしい」とあいさつ。記念の盾と賞状を受け取った熊原投手は「地元で応援してくれる方々に

いい報告ができるよう頑張ります」と語った。熊原投手は同市の深山神社が実家で、大みそかの夜



大友市長から記念の盾を受け取る熊原投手(右)

は例年通り、元朝参りに訪れる参拝客のもてなしを手伝う予定。来年1月8日に横須賀市の球団寮に入り、新人合同自主トレーニング

に参加する。郷土の誉は、市制施行40周年に合わせて1998年に創設された。受賞は熊原投手で6人目となる。